東京 11 発走 15：45

1着馬にマイルチャンピオンシップ優先出走権
第19回 富士ステークス（GⅢ）
（3歳以上・オープン・国際（指定）・別定）

枠	馬番	馬名	性	齢	父 / 母 / 母の父	毛色	負担重量	騎手	騎乗成績	条件	賞金	総賞金	厩舎
白	1	ブラックムーン	牡	4	アドマイヤムーン / ロイヤルアタック / ジェネラス	鹿毛	56	川田	1010	オープン	2100	9671	西浦
黒	2	ダノンプラチナ	牡	4	ディープインパクト / パディーラ輸入 / ブライトルズング	芦毛	57	蛯名	4123	オープン	3200	15864	国枝
赤	3	ヤングマンパワー	牡	4	スニッツェル / スナップショット2勝	黒鹿毛	57	戸崎	2000	オープン	3975	14561	手塚
青	4	イスラボニータ	牡	5	フジキセキ / イスラコジーン輸入	黒鹿毛	58	ルメール	0010	オープン	8325	51198	栗田博
黄	5	ティエムイナズマ	牡	6	ブラックタイド / クラスター輸入	黒鹿毛	56	古川吉	21210	オープン	4400	15075	福島信
緑	6	マイネルアウラート	牡	5	ステイゴールド / マイネシャンゼリゼ1勝	黒鹿毛	56 B	柴田大	5129	オープン	3450	11739	高橋裕
緑	7	フルーキー	牡	6	リダウツチョイス / サンデーサイレンス輸入	黒鹿毛	57	Mデムーロ	1110	オープン	7850	22956	角居
橙	8	ガリバルディ	牡	5	ディープインパクト / シェンク輸入 / ザフォニック	鹿毛	57	福永	3330	オープン	4200	13316	藤原英
橙	9	ミュゼエイリアン	牡	4	スクリーンヒーロー / エールスタンス2勝 / エルコンドルパサー	鹿毛	56	横山典	0113	オープン	1650	7848	黒岩
桃	10	ロードクエスト	牡	3	タニノギムレット / マツリダゴッホ / モルガナイト4勝 / マツリダワルツ公営	鹿毛	54	大野	0000	オープン	2200	8651	音無
桃	11	ブラックスピネル	牡	3	ディープインパクト / チーフベアハート	鹿毛	55	池添	1111	オープン	7050	15654	小島茂

本紙の見解

マイル戦ならクエスト

ロードクエストは芝千六〔3100〕。1度の敗戦は、最内を逃げたメジャーエンブレムをわずか捕らえ切れなかったNHKマイルC②着。大外から堂々差し切った前走京成杯は強い内容で、同じ55キロなら連勝濃厚。コースは、中山より東京の方が断然合っている。昨年の覇者ダノンプラチナ、充実著しいヤングマンパワーが相手。【波乱含み】

東京 11R

馬単
11⇄2
11⇄3
11⇄4
2⇄3
11⇄8
11⇄7
11→6

3連単 フォーメーション
1着 11 ▼
2着 2 3 4 6 7 8 ▼
3着 2 3 4 6 7 8
（30点）

【ポイント】NHKマイルC②着ロードクエストは、秋緒戦、古馬と初対戦のマイル重賞も制し成長示した。準OP→重賞連勝のヤングマンパワーも今季の充実が光る一頭。昨年今年の覇者ダノンプラチナ、GⅠ馬イスラボニータにも注意が必要で、マイルCSへ向け各馬弾みをつけたい一戦。

データ

過去の実績	4 11 2 3 9
距離の適性	11 3 2 7 4
コース適性	11 4 2 7 3
攻め馬状態	11 8 1 0 4

3連複
2 3 11
2 4 11
2 8 11
2 7 11
3 4 11
3 8 11
3 7 11
4 8 11
4 7 11

つまやのはなし

〔差なし〕

1ブラックムーン
○西浦師＝前走はよく伸びてくの覇者ダノンプラチナ、GⅠ馬イスラボニータにも注意が必要で、マイルCSへ向け各馬弾みをつけたい一戦。

レス展開

【ミュゼがハナ切って行けるがこの頭数で落ち着いた流れ。後方待機のロード・ダノンらは、追い出しのタイミングひとつ】

内 ❸ ⑦⑩⑧①❷ ④ ⑥ ⑤ ⑨ ↑ 外
逃げ 好位 中団 後方
平均ペース

〔小差〕

2ダノンプラチナ
○国枝師＝久々の影響か、仕掛けた時の反応こそ鈍かった前回だが、得手とも思えない中山であれだけの脚を使えれば…。体重減は絞れたものでは問題なし、れた。重賞でどこまでやれるかだが、使った上積みは見込めるからね。楽しみな一戦。

〔好走可〕

3ヤングマンパワー
◎手塚師＝直前を坂路で追うパターンに変えてから、安定して好結果を出せるようになった。極端な上がり勝負でないことが理想だが、ここで勝ち負けして何とかGⅠへ向かいたい。

〔互角〕

4イスラボニータ
○栗田博師＝毎日王冠も予定していたが、仕上がり具合を見てここまで待った。まだ全体に余裕が残る印象だし、今回は能力の高さに期待という感じかな。

〔上位可〕

5ティエムイナズマ
○福島信師＝元気一杯で体調はいい。前走はスローで折り合い得意の東京＋順調に使える今回、改めて期待だね。

〔圏内〕

3ヤングマンパワー
◎手塚師＝直前を坂路で追うパターンに変えてから、安定して好結果を出せるようになった。極端な上がり勝負でないことが理想だが、ここで勝ち負けして何とかGⅠへ向かいたい。

〔互角〕

4イスラボニータ
○栗田博師＝毎日王冠も予定していたが、仕上がり具合を見てここまで待った。まだ全体に余裕が残る印象だし、今回は能力の高さに期待という感じかな。

〔上位可〕

5ティエムイナズマ
○福島信師＝元気一杯で体調はいい。前走はスローで折り合い面など難しさがあった。緩みないペースで持ち味を出せれば。

6マイネルアウラート〔再度注〕
○高橋裕師＝前回と関屋記念との差はやはり馬場かな。本来の張りが戻って体調はさらに上向なら…。コース相性の良さにも期待だね。

7フルーキー

〔圏内〕

○岸本助手＝夏場にいい休養ができたようで、体が膨らんで帰厩。久しぶりの千六だが、ペースに対応できれば。

〔押さえ〕

8ガリバルディ
○田代助手＝前走はいい脚を使ってくれたね。戦法に幅が出たし、左回りで結果を出せたのも収穫。今なら長距離輸送も大丈夫だと思うよ。

9ミュゼエイリアン

〔入着級〕

○黒岩師＝背腰がしっかりして走りのバランスが良化したし、落ち着きもある。ただ、ブランク長く体つきに余裕があるからね。距離は合っているが…。

10ブラックスピネル

〔連下級〕

○音無師＝前走は出負けぎみで流れもスロー。長くいい脚を使える、この馬の持ち味を生かせなかった。54キロはいいから、ひと踏ん張りができないかな。

〔圏内〕

11ロードクエスト
○土明助手＝前走後も在厩して順調に乗り込めている。休み明けを叩いて思ったとおりの上積みを感じるし、左回りの千六はベストの条件。相手は強くなるが、結果を出して次につながるような走りを期待したい。

東京芝1600m ジョッキー連対率ベスト10

①横山典	.257	
②福永	.250	
③三浦	.248	
④戸崎	.229	
⑤北村宏	.214	
⑥蛯名	.213	
⑦岩田	.210	
⑧内田博	.189	
⑨田辺	.152	
⑩田中勝	.149	

2011～2015年 70勝乗以上

柏木の単複運

もうマイル部門では3歳馬の力は古馬に追いつき、並びかけている。ロードクエスト（マイル重賞①②着）に別定55キロは有利だ。復調著しいイスラボニータが強敵。

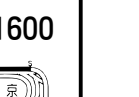
11⇄4
11⇄2
4→2
11→3
11→7
11→1
11→8

単… 複…

《能力指数について》

スタッフ欄に1～100で表示してあります。なお、未勝利馬古馬も含む）については、的確な能力数算出が不可能なため、割愛させていただきます。また、障害未勝利戦も同様の視点から能力数はありません。

芝1600



レコード 1.31.3
ストングリターン 58 福永 24年6月3日

〔今回推定タイム〕
良 1.32秒台
重 1.34秒台

〔成績の見方〕
①場所（馬場状態）月日
②競走名 条件 着順
③距離 時計
④体重 ペース 秒差
⑤負担重量 騎手
⑥頭数 枠順 人気
⑦通過順 前半3F
⑧短評 後半3F
⑨1着または2着馬名

Ⓢ…スローペース
Ⓜ…平均ペース
Ⓗ…ハイペース

※通過順の○数字は不利を示す。

| | | |

グリーンチャンネル解説者

黒津　紳一　桧原　正行

秋初戦の京成杯ＡＨは③着だが、58キロを背負ってプラス0秒3差だったダノンプラチナ。昨年の富士Ｓ①着時には上がり32秒を記録しており、4戦8勝の東京千六で別定57キロなら切れ味全開。

今までと同じだったのは出足の鈍さだけ。速くない流れでも難なく折り合えた前回が強い勝ちっぷりだった**ロードクエスト**。精神面の成長が本物ならこの相手でも楽に突破できるはずだ。

東京 11R　TMイチ推し⑪ロードクエスト

中間の乗り込み入念　気合のって万全

11R　1000　800　600　200　ラスト脚いろ

1 ブラックム 栗CW重 6F83.7 67.6 52.2 38.2 12.3④一杯追遅
29栗坂助手 565 414 131馬なり　2栗坂助手 579 422 131馬なり
5栗CW稍助　手 6F85.8 70.0 54.8 40.3 12.8⑥直強め遅
13栗CW良　幸 6F87.4 70.4 54.4 39.5 12.0⑤一杯追併
16栗坂助手 565 411 136馬なり　18栗坂助手 625 465 142馬なり
19栗CW稍　幸 6F85.0 67.3 51.6 37.8 12.4⑥一杯追遅
（新馬アーケロンバイオ強めの外を追走２馬遅れ）
↗ **遅れたが実戦タイプ。叩いて素軽さを増してきた。【B】**

2 ダノンプラ 南W稍 68.3 53.0 39.2 12.7⑧馬なり併
2南BW稍助　手 74.2 57.8 43.1 13.8⑥馬なり
6南BW稍助　手 68.8 54.2 39.9 13.8⑥馬なり先
13南BW稍助　手 65.3 51.0 37.4 12.6②馬なり併
16南CP良助　手 72.7 56.4 42.2 14.9⑥馬なり
19南BW稍蛯　名 6F82.0 67.0 52.7 39.4 13.8⑦馬なり遅
（古1600カレンリスベット馬なりの内を追走１馬半遅れ）
→ **5秒以上追走から終いセーブ。急上昇？も順調。【B】**

3 ヤングマンパワー 美坂助手 54.3 39.8 12.1 馬なり先
2美坂助手 572 414 135馬なり　6美坂助手 521 379 122強めに併
10南BW稍助　手 72.5 56.6 42.4 13.3⑥馬なり
13美坂助手 522 382 122強めに遅
16南BW稍助　手 68.2 52.7 38.4 12.9⑦馬なり
19美坂助手 530 386 122G前強併
（古1000ツインキャンドル一杯併入）
→ **口向きの悪さ見せるが、G前は鋭く反応。好状態。【B】**

4 イスラボニ 南W稍 65.9 50.8 37.6 12.0⑤馬なり併
28南BW稍助　手 6F84.9 69.4 54.2 40.1 12.6④馬なり
6南BW稍助　手 66.8 52.1 38.0 12.3④直強め併
13南BW稍助　手 65.5 51.5 37.7 12.3⑥末一杯
19南BW稍助　手 68.1 52.5 38.0 12.8⑥馬なり
→ **体全体を大きく使う。切れ？も、迫力満点の走り。【B】**

5 テイエムイナズマ 栗坂助手 56.0 40.4 12.3 一杯追
14栗坂助手 515 379 130一杯追　19栗坂助手 572 420 129馬なり
→ **先週ビシッと追い直前控えたが、引き続き好状態。【B】**

6 マイネルア 南W稍 70.0 54.6 40.0 13.3⑤強めに
13南BW稍柴田大 69.1 53.1 38.9 13.6⑨馬なり先
19南BW稍助　手 70.5 54.5 39.8 12.6③馬なり
→ **絶好調時の鋭さはまだ見えないが、反動なく順調。【B】**

7 フルーキー 栗CW重 67.6 52.7 38.9 11.9⑧馬なり併
5栗CW稍助　手 6F84.2 67.4 52.6 38.5 11.9⑧馬なり併
10栗坂助手 545 391 125馬なり先　12栗坂助手 603 446 147馬なり
13栗CW良助　手 6F86.2 68.9 53.0 38.3 11.6⑦一杯追遅
16栗坂助手 529 385 131馬なり先
19栗CW稍Mデムー 6F85.5 69.7 54.1 38.8 12.4⑥馬なり併
（２歳500ヴァナヘイム馬なりの内を追走併入）
→ **２歳を問題にしない迫力。乗り込んで好仕上げ。【B】**

8 ガリバルディ 栗坂 福永 52.8 38.3 12.5 G前強
29栗CW不助　手 6F82.0 66.0 51.6 37.5 12.6⑤強めに
6栗坂鮫良 562 397 122一杯追
10栗CW重助　手 53.4 39.1 11.6④末強め
13栗CW良福　永 62.2 49.0 36.7 12.4④G前追
19栗坂福永 522 384 129強めに
↗ **休養でさらにパワーアップ。直前の気配も上々。【B】**

9 ミュゼエイ 南W稍 54.1 39.8 13.0⑧馬なり
28美坂助手 540 401 129馬なり　2美坂助手 569 411 134馬なり
6南BW稍助　手 54.0 39.6 13.1⑧馬なり併
9美坂助手 539 396 127馬なり
13南BW稍横山典 52.4 39.3 12.7⑨馬なり
16美坂助手 566 419 139馬なり　19美坂助手 550 403 124G前追先
（新馬マイネルデュナミス一杯を追走１馬先着）
→ **外から豪快に伸びて追走先着。体にもボリューム。【B】**

10 ブラックスピネル 栗坂 松若 52.4 38.2 12.9 一杯追先
16栗坂助手 573 431 147馬なり　19栗坂助手 526 379 127一杯追遅
（古オープンミッキーロケット強めに先行クビ遅れ）
↗ **遅れたが動き自体は上々。使った上積みもある。【B】**

11 ロードクエ 南W稍 68.8 52.5 38.3 13.1⑦馬なり併
6南BW稍助　手 6F83.1 67.9 53.3 38.7 13.5⑥馬なり
9美坂調師 503 377 126馬なり　13美坂調師 511 393 128馬なり併
16南BW稍調教師 54.9 39.8 13.3⑦馬なり
19南BW稍調教師 52.7 38.8 12.4⑥馬なり併
（２歳500アウトライアーズ馬なりの内を追走併入）
↗ **十分すぎる調教量を消化。気合満点、状態万全。【A】**

《ニューポリトラック馬場について》

美浦トレセンの南Ｃコースは、内側を芝、外側をニューポリトラック馬場（表記は南ＣＰ）に分割されています。ポリトラック部分の幅員は15m、１周は内側＝1858m、外側＝1938m。材料は電線被覆材、ポリエステル不織布、ポリウレタン繊維、珪砂（けいしゃ）、ワックスなどを混合した物で、優れた排水性を持ち、降雨による馬場悪化が少なく、ほぼ良馬場状態を保てる。クッション性にも優れ、走行時のキックバックが少ない。グリップ力があって滑りにくいため、故障の軽減に期待できる。

富士ステークス　過去５回の成績

▼表右端の金額は、上から単勝・馬連・馬単の払戻し金額です。

23東京	13	エイシンアポロン	牡四	56	田　辺	1.35.0	11	11	11	11	①	410
芝1600	8	アプリコットフィズ	牝四	54	田中勝	″	5	4	3	3	⑥	2320
不17頭	5	マイネルラクリマ	牡三	54	松　岡	1	2	2	2	3	⑤	4020
24東京	18	クラレント	牡三	54	岩　田	1.32.4	7	7	7	7	⑤	1100
芝1600	10	ファイナルフォーム	牡三	55	福　永	1/2	9	9	7	3	③	4990
良18頭	11	ヒットジャポット	牡五	56	松　岡	ハナ	11	9	10	4	④	9420
25東京	9	ダノンシャーク	牡五	57	内田博	1.33.5	7	4	4	1	①	240
芝1600	12	リアルインパクト	牡五	58	戸　崎	3/4	1	2	2	2	③	3930
良15頭	4	シャイニープリンス	牡三	54	北村宏	ハナ	1	4	4	4	⑭	5930
26東京	16	ステファノス	牡三	54	戸　崎	1.33.2	10	10	10	10	②	610
芝1600	7	シャイニープリンス	牡四	56	柴田大	クビ	7	9	9	9	⑫	14780
良16頭	11	レッドアリオン	牡四	56	小牧太	3/4	12	12	12	2	⑤	22700
27東京	3	ダノンプラチナ	牡三	54	蛯　名	1.32.7	5	14	3	4	④	990
芝1600	11	サトノアラジン	牡四	56	ルメール	クビ	12	12	11	1	①	1330
良16頭	14	ロゴタイプ	牡五	58	Mデムー	1 1/2	2	2	2	3	③	3450

データ室

《各予想者の「◉」印に注目》
予想欄の〝◉〟印は、各スタッフが一日１頭厳選したもので、「その日一番買いたい馬」を示しています。

❶馬連平均＝5470円
▼本命決着なく、5人気以下が４連対。波乱含み。
❷年齢別連対数
▼３歳＝４、４歳＝４、５歳＝２。６歳上〔0029〕。
❸重賞実績
▼連対９頭は重賞勝ちか、東京で重賞②③着あり。
❹ステップ
▼京成ＡＨ⑤着以内は〔1109〕だが、好走２頭には東京で重賞連対あり。春のＧＩ戦以来は〔1007〕。
ヒント▼**ダノンプラチナ**

これで決まり！

大川浩史

芝も走れるダート馬が最強

▼秋嶺Ｓ（東京10Ｒ）には初ダートで１０００万を勝った馬が２頭いる。

サトノアッシュは芝でも上がり32秒台（それでも③着）があったりしたが、芝３勝は中山と中京。軽い芝のスローペースでは切れ負けしていた。

ディアデルレイは芝での上がり最高が34秒０。今どき上がり33秒台が出ないようでは芝で勝ち切るのは難しく、芝のスローでは切れ負けを繰り返した。

▼どちらもダート向きというより、芝では切れ不足というタイプだと思うが、「芝でもそこそこ走れるが、芝のスローでは切れ不足」という馬は、ダートの中では切れ味が要求される東京ダート千六では最強の存在。

特に**ディアデルレイ**の前走は１０００万としては最高レベル（②③④着馬が次走①着、⑥⑦着馬が次走②着）であり、この舞台なら１６００万でもいきなり通用する。

発見！スゴイ馬

小木曽大祐

メンバー・レース内容ともにハイレベルだった競馬は、チェック印も３重丸に。少しぐらい離されていても、厳しい経験は次へとつながります。そんな一戦が10月２日のスウィフトレードが勝った競馬です。

同日の準オープンと時計を比べても、千通過がコンマ３秒遅いだけの61秒１。勝ち時計もコンマ６秒しか、変わらない好時計。運悪く（？）集まった②③着馬は、他のレースならば単勝１００円台でも不思議のない馬たちと、メンバー・レース内容ともに〝特注〟の一戦です。

そこでしぶとい粘りを見せた⑥Ｒの**コスモボアソル**はスタミナを生かせる絶好の舞台。

後方からただ１頭、脚を伸ばしてきたのが⑦Ｒ**マサノジェット**。ともに①着固定で勝負！

編集長のバ

▼近年の「**菊花賞**」の最大のポイントは、最近15年の勝ち馬のうち、過半数の８頭までを春の「皐月賞、日本ダービー」には出走していなかった馬が占めていること▲

▼その８頭のうち、６頭は神戸新聞杯かセントライト記念で、〈④⑥③③③③③着〉の星を残した。残る２頭はみせていた上がり馬。今年だと、１**カフジプリンス**、８**ミッキーロケット**の２頭がパターン通りの穴馬候補になる▲

▼連対馬30頭のうち、17頭までがダービー出走組。（皐ダ）

③**サトノダイヤモンド**　③②
⑥**ディーマジェスティ**　①③
⑬**エアスピネル**　④④

の３頭が高い評価を受けるのは当然。この３頭、レベルが高いとされた春の２冠を、連続して快走した「マカヒキ、リオンディーズ」以外の３頭である▲

▼皐月賞馬ディーマジェスティの強みは、体調一歩がささやかれたダービーでも０秒１しか敗けていないこと。皐月賞は風の中で快レコードだった。

ダービー馬マカヒキは凱旋門賞に挑戦して休養中だが、長い歴史の中、ダービー馬と皐月賞馬（それぞれ１冠ずつ）が対決したこと16回。

皐月賞馬の「12勝４敗」という圧倒的な記録がある▲

▼**エアスピネル**の祖母エアデジャヴー（牝馬３冠③②③着）の半弟エアシャカールは、00年の３冠①②①着。ダービーは負けたが、菊花賞で再逆転した。ディーマジェスティは「皐月賞・菊花賞」の２冠馬が、史上８頭もいる強みを生かしたい。

〈ダービー・菊花賞〉の２冠牡馬はわずか１頭だけ〉▲

▼ディーマジェスティに死角があるとすると、輸送は近年の馬は慣れっこだが、神戸新聞杯組が10年間で８勝もしているのに対し、関東馬のセントライト組は、マンハッタンカフェ（蛯名）以後、もう14年間も勝っていないことか。**蛯名正義**騎手にかかる期待は大きい▲

〔柏木〕

競馬人情

吉川良

石油会社勤務のタツヤくんは27歳。昔、草野球チームの仲間だった人の孫である。

「わが家は誰もケイバのケの字も言わないけど、ぼくは知ってみたいんです」

とタツヤくんが私の家へ来て言ったのは去年の十二月だ。

タツヤくんは有馬記念の日に競馬場デビューをし、ゴールドアクターの単勝（1700円）を千円持っていたこともあってか

「競馬、好きになりました」

と私に報告した。

10月19日の夜遅く、横須賀線の車中でバッタリ。久しぶりのご対面。

「まだ競馬と別れてない？」

「いや、幸か不幸か愛しあってます。ひとりですけど、よく競馬場へも行ってます」

「競馬の、というより馬券の、どんなとこが面白い？」

「自分と自分の関係ですね。気が小さいなと悲しくなったり、ヤケクソに穴を買って、もっと悲しくなったり」

「おれもそっくり」

と私は笑った。

「さっき富士Ｓのことを考えてました。ロードクエストとイスラボニータでいいかと決めかけると、ダノンプラチナとヤングマンパワーがちらついてきて」

「千々に乱れる」

「そう、それ、チヂに乱れる」

とタツヤくんが強く頷いた。

富士Ｓ。千々に乱れてタツヤくんはガリバルディの、私はフルーキーの単勝勝負。

勝負の一手

郡和之

京都９Ｒ　ダイアナヘイロー

デビュー後２戦はマイルを使っていたが、実戦を重ねるごとに折り合いに難しい面を見せるように。それだけに前走は千二起用が吉と出た。余力十分に４馬身差の圧勝、時計も１週前の準ＯＰを０秒１凌ぐものだった。気性的に久々は苦にしないはずで、緒戦から期待できる。

◆ＮＨＫマイル５着以内の３歳馬

21年 **レッドスパーダ** ⑮着⑪
22年 **リルダヴァル** ④着①
24年 **クラレント** ❶着⑤
セイクリットレーヴ ⑩着⑧
25年 **レッドアリオン** ⑥着⑤
インパルスヒーロー ⑨着③
26年 **ロサギガンティア** ④着③
キングズオブザサン ⑩着④
27年 **グランシルク** ⑥着⑤
クラリティスカイ ⑮着⑥

＊（）内は人気

「レース展開」の馬番数字の中で❶…などの白ヌキ数字で表したものは、そのレースの「展開注目馬」です。